
夫婦共稼ぎということばはもう古い

こここのところ
夫婦共稼ぎが普通になっています。

確かに、子どもの教育費や
住宅購入資金や住宅ローンの返済のためなど、

家計の収入を増やすために、
これまで以上に、
夫婦で収入を得ている家庭もあるでしょう。

しかし、現在の夫婦共稼ぎは、

夫婦で家計を潤わせることには
違いないのですが、

以前とは、

変わってきているようにも思います。

以前は。

「公的年金に頼れないから、
老後の生活資金を
蓄えるために働かなくてはならない」

「老後の生活のために
いつまで働けばよいのかわからない」

などと悲壮感が漂っていた方も

いたのですが、

最近では、

お友達を増やすため、

様々なお役立ち情報を収集するため、

健康維持ため、

といった、ご自身のライフワークとして、

以前は、専業主婦といわれ、
収入を得ていなかった方が、

正社員ではなく、
パートやアルバイトの形態で、

年齢を問わず、

働いている方もみえるようになりました。

つまり、夫婦共稼ぎという言葉は、
昔の言葉になったかもしれません。

働かざるを得ない

一方で、
家計のために、
夫婦で働かざるを得ないのだ、

といわれる方もみえるでしょう。

このようなご家庭でも、

ご自身やご夫婦の理想の家庭を
実現するために、
どれだけの収入を得たら良いのか、

また、現在の家計収支に無駄がないか、
今後のライフイベントに
過剰な出費を予定していないか、

今一度、
家計支出に無駄はないのか、
見直しを検討することは必要でしょう。

家計の財布も変わってきた

ひと昔前までは、

共稼ぎに夫婦の中には、

夫婦で決めておいた金額のみを
家計用に支出したり、

夫の収入は生活費
妻の収入はすべて貯蓄としたりと、

家計の財布と
夫婦それぞれの財布を持っていました。

また、それぞれの収入を知らない夫婦もいて、

お互いの年金を合算しないと生活ができない
老後の生活に入って、

初めて、お互いの収入がわかり、

想像していたより、
お互いに少なく、

老後の生活に入ってから、
生活費を削らざるを得なかった、
という話を聞いたこともあります。

しかし、最近は、
結婚当初から、
お互いの収入を把握する夫婦もあるようで、

家計収支を見込んだ、
生涯のライフプランの作成、

家計の財布も作り、

以前のような、

老後の生活に入ってから、

夫婦個々の貯蓄を出し合って、
生活をするのではなく、

老後のための生活費は、

現役の時代から

夫婦、お互いが資金を出し合い貯めるが、

夫婦が個々で管理する貯蓄は、
生涯、
個々で管理するようになっているようです。

おかしな世中ではありません

一見、おかしな世の中になった、
と、思われるかもしれませんが。

しかし、私はそうは思いません。

なぜなら、
女性がまだ社会進出途上で、

男性が主に収入を得ていた時代のことを
思い出してください。

夫が、収入を妻にすべて差し出して、
そのお金で、妻は、家計を消費して、
残りを貯蓄するか使ってしまう。

また、夫は、家計に必要な分だけを
妻に渡し、
残りは、夫が貯めるか使う。

どちらでもそれなりに
家計はうまく回っていきました。

しかし、現在は、
家計収入がうまく回っていくかは、
夫婦、相互で、
コントロールする時代になったのです。

夫も妻も均等に、
家計に、
責任を持たなくてはならなくなったのです。

決して、
おかしな世の中になった訳ではないのです。

家計は、
夫婦で作り上げる時代になったのです。

ひと昔まえより
共稼ぎの家計が透明になったように思えます。

その分、相手の収入にも頼って、
家計全体が潤う計画も
立てやすくなってきたのです。

■「人生の添乗員（R）」からのワンポイントメッセージ

家計は、

夫婦で作りに上げていくものです

■人生の添乗員（R）牧野寿和のプロフィール

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

開業 16 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他の国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。
そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 900 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

以前、夫が年金をいくら貰っているのか知らないといわれる年配の女性がいました。

しかし、生活は成り立っているようです。

最近も、年金はどの位もらえるのと、夫のもらっている年金額を夫から知らされていない、年配の女性から話を聞きました。

この方の家計も成り立っているようです。

これからは、
夫から、
妻の年金額を知らされていない。

といった、
話を聞くようになるかも！？

夫婦で情報は共有しましょう！

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：
牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和

〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。
こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野 FP 事務所合同会社 公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
